

【意見交換会】

日本企業と日本の大学のナイジェリア人卒業生との意見交換会 (ナイジェリア)

開催日: 令和5年6月16日

場 所: 在ナイジェリア大使公邸及びオンライン

主催(共催): 大使館、JETRO、JICA

協力/参加企業: LIXIL、SPEC

ナイジェリア側参加者: JAAN(JICA研修同窓生)、
NAIJAA(文部科学省奨学生同窓生)、
KAKEHASHI(Abeイニシアティブ同窓生)

在ナイジェリア大使館



【概要】

- 松永大使は、日本企業と日本の大学のナイジェリア人卒業生との橋渡しをすることを目的として、Japan Alumni Nigeria Conferenceを主催、オンラインでウェビナーを行うとともに、各組織の代表が大使公邸に集まり、総計約50名以上の出席者があった。
- このウェビナーは、異なる同窓会組織の連携強化に加え、留学生の卒業後のフォローアップを友好目的の交流促進に留めることなく、日本・ナイジェリア間のビジネス協力強化に資するようなものとするを目的としている。
- その中で、ナイジェリアの直面する課題解決に貢献できる技術を有し、ナイジェリアでのビジネス拡大・進出に関心を有する日本企業がプレゼンし、質疑応答を行った。まずLIXIL社が、野外排泄の解決策として、持続可能で環境に優しい「SATOトイレ」を紹介。続いてSPEC社が、セメントに代わる画期的な土壌硬化剤「STEIN」を紹介、JICAと連携し、2019年4月からカンボジアで実施した灌漑・農業・農村道路整備技術の普及・実証調査や各国の耐候性舗装道路について説明するとともに、建築やインフラ開発のコストの大幅削減に貢献すると説明した。
- さらに、卒業生ネットワークを活性化する試みとして、「Japan Alumni, Nigeria」のFacebook、LinkedInのキックオフが発表された。
- ウェビナー後に開催された懇親会では、和食や梅酒が振る舞われ、日本食を紹介する貴重な機会となった。